

2022年3月28日  
下地島空港活性化協議会

## 羽田空港から到着されたお客様をお出迎えしました

～新たなシーズンの始まり、心機一転、下地島空港の路線を盛り上げていきます～



到着口でのお出迎え



伊良部島小学校(結の橋学園)  
小学6年生によるエイサー演舞



お出迎え参加者の集合写真 ※写真撮影時のみマスクを外しております  
(前列左側 SKY 洞社長 / 後列左より伴野社長、座喜味市長 / 後列右より下地会頭、吉井会長、宮城部長)

下地島空港活性化協議会(会長:座喜味一幸)(※1)は3月27日(日)、下地島空港にて羽田空港から到着されたお客様のお出迎えを行いましたので、お知らせします。

2022年年明け以降、新型コロナウイルス感染拡大(第6波)の影響により宮古諸島への来島需要が低迷していましたが、航空業界にとって新たなシーズン(※2)初日となる3月27日、心機一転、下地島空港の路線を盛り上げていくべく、羽田空港からのスカイマーク613便に搭乗されていたお客様を盛大にお出迎えいたしました。

当日は、下地島空港活性化協議会やスカイマーク株式会社(以下「スカイマーク」)による到着口での記念品配布に加え、地元伊良部島の小学校(宮古島市立伊良部島小学校(結の橋学園))6年生37名が駆け付けエイサーを披露し、到着されたお客様だけでなく、地元の皆様にも楽しんでいただきました。

(※1) 本協議会は、宮古諸島の受入環境整備や下地島空港の航空路線プロモーションなど、下地島空港活性化に資する各種事業の立案並びに実施することを目的として、2020年8月に宮古島市、沖縄県、(一社)宮古島観光協会、宮古島商工会議所、下地島エアポートマネジメント株式会社にて立ち上げた組織です。

(※2) 航空業界は毎年3月最終日曜日から始まる「夏期」と毎年10月最終日曜日から始まる「冬期」の2シーズンに分かれており、航空各社はこれに基づきスケジュール設定を行っています。今年は、「夏期」が3月27日～10月29日、「冬期」が10月30日～翌年3月26日です。

スカイマークの羽田＝宮古(下地島)線については、3月27日より1年間、国土交通省航空局の行う「羽田発着枠政策コンテスト」の評価対象期間(トライアル運航期間)となっており、2020年5月の評価で僅差であった5位の羽田＝三沢線と6位の羽田＝宮古(下地島)線の評価対象期間における実績を再度評価した上で、羽田発着枠の最終的な配分先を決定することとされています。

評価対象期間初日を迎えたことについて、宮古島市長(協議会会長)の座喜味一幸は次の通り述べています。  
「スカイマークの羽田=宮古(下地島)線は、宮古島の観光振興にとって大変重要な路線です。本日(3月27日)より羽田発着枠政策コンテストの評価対象期間が始まりましたが、官民一体でより一層当路線の利用促進に向けた取り組みを行うことで、羽田発着枠の獲得、そして宮古島の観光産業の活性化を目指します。」

また、スカイマーク代表取締役社長執行役員の洞駿様は次の通り述べています。  
「スカイマークは、今後も安全を第一に、定時運航に努め、シンプルで温かく誠実なサービスを身近な価格でご提供してまいります。また本日(3月27日)より始まった「羽田発着枠政策コンテスト」に全力で取り組み、長期的に宮古島の観光振興と地方創生に貢献したいと考えております。」

羽田発着枠の獲得においては、羽田発着枠政策コンテストで提案を行った各種施策の実施のみならず、羽田線の利用者数の増加が重要となります。本協議会では官民一体にて羽田線の利用促進に向けた取組を加速させることにより、羽田発着枠の獲得、そして宮古諸島のさらなる活性化を目指してまいります。

#### 【お出迎えイベントの概要】

■日 時： 2022年3月27日(日) 14:00~15:00

■場 所： みやこ下地島空港ターミナル 国内線到着口付近

■参加者： 洞 駿 様      スカイマーク株式会社 代表取締役社長執行役員

    <<下地島空港活性化協議会会員>>

    座喜味 一幸 宮古島市長(協議会会長)

    宮城 嗣吉 沖縄県文化観光スポーツ部 部長

    下地 義治 宮古島商工会議所 会頭

    吉井 良介 宮古島観光協会 会長

    伴野 賢太郎 下地島エアポートマネジメント株式会社 代表取締役社長

宮古島市立 伊良部島小学校(結の橋学園) 小学6年生 37名

以 上